

令和元年度 第 2 回 土木計画学研究委員会 議事録 (案)

日時：令和元年 11 月 30 日 (土) 12:05~13:15

場所：富山大学五福キャンパス共通教育棟 C22 教室

■ 出席者 (敬称略)

委員長：藤原章正(広島大)

副委員長：兵藤哲朗(東京海洋大)、佐々木葉(早稲田大)

幹事長：藤井聡 (京都大)

学術小委員会：土井健司(大阪大)

大会運営小委員会：寺部慎太郎(東京理科大)、橋本成仁(岡山大)、氏原岳人(岡山大)、秋大

大会開催校幹事：中川大(富山大)、金山洋一(富山大)、春大会開催校幹事：土井健司(大阪大)

研究小委員会：河野達仁(東北大)、清水哲夫(首都大)、大森宣暁(宇都宮大)、原田昇(東京大)、安間匡明(大和証券)、柴崎隆一(東京大)

委員兼幹事：岩田圭祐(寒地土研)、松永千晶(九州大)、吉田樹(福島大)、稲垣具志(日本大)

神田佑亮(呉高専)、田中皓介(東京理科大)、小池淳司(神戸大)、松田曜子(長岡技科大)

Jan Dirk SCHMOECKER (京都大)、松本浩和(地域未来研)、泊尚志(東北工大)、栗

原剛(東洋大、議事録)

■ 議事

1. 開会 委員長挨拶

2. 前回議事録の確認 資料 2

3. 委員の交代について 資料 3

4. 予算の執行計画について 資料 15

5. 学術小委員会からの報告 資料 4

6. 2019 年度秋大会の実施状況について

7. 2020 年度春大会の準備状況について 資料 5

8. 2020 年度秋大会の準備状況について 資料 6

9. 研究小委員会からの報告 資料 7

10. 幹事会からの報告

(ア) ワンデイセミナー 100 回記念シンポジウム 準備報告 資料 8

(イ) 国際賞について 資料 9

(ウ) 土木学会功績賞について 資料 10

(エ) 研究討論会報告 資料 16

(オ) 災害調査について 資料 17

(カ) 国際セミナーの実施状況について 資料 11

(キ) ワンデイセミナー実施状況 資料 12

(ク) HP 改善報告 資料 13

(ケ) その他 資料 14

11. その他

【議事】**1. 委員長挨拶**

藤原委員長より挨拶がなされた。

2. 前回議事録の確認

藤井幹事長より資料 2 の議事録確認依頼があり、前回委員会の議事録が承認された。

【審議事項】**3. 委員の交代について**

藤井幹事長より資料 3 委員名簿の確認依頼があり、承認された。一部資料に誤記があったため、修正版を委員に回覧する。

4. 予算の執行計画について

藤井幹事長より資料 15 の説明があった。予算の執行計画については 2019 年 9 月に開催された幹事会で既に承認されており、土木計画学セミナー・シンポジウム事業費用を多めに見積もっている。本計画について、委員会の場でも承認された。

【報告事項】**5. 学術小委員会からの報告**

土井学術小委員長より資料 4 の説明があり、D3 特集号 Vol.36 と Vol.37 の査読状況、刊行スケジュールが確認された。Vol.37 については投稿が 116 件と少ないが、採択率は 6 割を超える見通しであることが報告された。

6. 2019 年度秋大会の実施状況について

金山秋大会開催校幹事より第 60 回土木計画学研究発表会に関する記事が富山新聞の朝刊に掲載されたとの報告があった。また、中川秋大会開催校幹事より参加状況について報告があり、事前投稿エントリー 546 名、事前参加申込み 286 名、11/29・30 午前現在での受付け 187 名であった。

7. 2020 年度春大会の準備状況について

土井春大会開催校幹事より資料 5 の説明があり、日程・会場ともに変更ないとのことであった。発表会場が二か所に分かれ、それぞれ 800m 程度離れていることから、受付を分散できるかどうか検討している。また、会場間をグリスロ輸送することを検討しているとのことであった。

8. 2020 年度秋大会の準備状況について

寺部大会運営小委員長より資料 6 の説明があった。秋大会開催校幹事の高瀬先生よ

り、日程については、2020年11月14日（土）15日（日）は確定で、もう1日を13（金）にするか、16（月）にするかは、適宜委員会と相談したいとの連絡を受けており、寺部小委員長と高瀬先生とで調整することとなった。なお、平日、大学が使用できない時間帯の会議室を確保することが検討課題となっているため、例年2日目に開催されている招待講演を、1日目か3日目に移動してセッション会場を確保したいとのことであった。大会運営小委員会秋大会運営幹事が小嶋先生（埼玉大）から西内先生（高知工科大）へ交代になるとの報告があった。

9. 研究小委員会からの報告

岩田幹事より資料7-1の研究小委員会活動状況について説明がなされた。また、小池幹事より、小池幹事が委員長を務める資料7-2の新規研究小委員会設置企画書について説明がなされ、委員会にて設置が承認された。

10. 幹事会からの報告

(ア) ワンデイセミナー100回記念シンポジウム 準備報告

藤井幹事長より資料8の説明がなされ、2020年4月都内でのシンポジウム開催に向けての準備状況、プログラム案について報告された。すでに土木計画学創立に携わった先生方へのインタビューも一部実施済みであり、土木計画学創立10周年を記念して刊行された書籍には記載されていない話もあり、大変おもしろい内容になっている。シンポジウム当日は、ビデオ配信を予定している。本シンポジウムについて、藤原委員長より、土木計画学の今後の方向性が決まるシンポジウムになることを期待しているとのコメントがあった。

(イ) 国際賞について

稲垣幹事より、資料9に沿って、各賞の趣旨と選考対象、選考委員会の委員構成、今後の予定について説明がなされた。2019年12月18日に選考委員会の開催を予定しており、委員に候補者の推薦が依頼された。土井学術小委員長より、個人に対して国際賞を授与するのは時代遅れとの指摘があった。藤原委員長より国際賞の推薦をするに至った経緯について補足され、本来は受賞にふさわしい人がたくさんいるにも関わらず、土木学会第IV部門からの受賞者が極端に少ないことから、組織的に候補者を推薦することになったとの説明がなされた。

(ウ) 土木学会功績賞について

藤井幹事長より資料10の説明がなされた。国際賞と同じく12月18日に選考委員会を開催し、その場で議論する予定である。功績賞については、毎年出さなくても良いとのことであった。

(エ) 研究討論会報告

松永幹事より、2020年9月9日～11日にかけて名古屋工業大学で開催される土木学会全国大会での研究討論会について説明がなされた。今後、主催側から委員会宛てに企画の依頼がくるので対応が必要になるとのことであった。当日配布されなかった資料を資料16として委員に回覧する。

(オ) 災害調査について

松田幹事（防災担当）より、前回委員会で承認された災害調査ガイドラインに従って、運用が開始された後の状況について説明がなされた。今年度も台風19号等、調査団設置の必要性を判断する案件が生じているが、科研費調査と重複がないように配慮することが必要とのことであった。当日配布されなかった資料を資料17として委員に回覧する。

(カ) 国際セミナーの実施状況について

シュマッカー幹事より、資料11の国際セミナー実施状況について説明がなされ、どのようなセミナーを国際セミナーと位置付け・登録すべきかと発議された。国際セミナーの開催頻度については現在土木学会に提出すべき資料ではなく、現在はIPMLで案内のあった国際セミナーはすべて幹事から主催側に国際セミナーとして登録を打診しているが、これを主催側から幹事へのリクエストベースに変更することになった。運用変更後、登録数が急減した場合は、周知を工夫する等対応を別途検討する。

(キ) ワンデイセミナー実施状況

泊幹事より資料12に沿って、最近のワンデイセミナーの開催状況について説明がなされた。

(ク) HP 改善報告

吉田幹事より資料13の説明がなされ、新HPの管理方針が確認された。研究小委員会に対して、小委員会の構成メンバーの中にHP担当者を置いてもらいたいとの依頼があった。

(ケ) その他

栗原幹事より資料14の説明がなされた。藤井幹事長より、次年度の全国大会でも幹事セッションを立ち上げるとともに、併せて幹事会を開催したいとのコメントがあった。

以上